

**JAMD** Webセミナー  
日本顕微鏡歯科学会主催 第3回歯科衛生士セミナー  
テーマ「なぜ私がマイクロスコープを使うのか」

三木和子先生 (天川デンタルオフィス外苑前)  
増田 梢先生 (すずき歯科医院)  
篠永美佳先生 (デンタルクリニックK)  
上田こころ先生 (武井歯科クリニック)

日程：2020年10月11日(日) 10時～13時



第3回歯科衛生士セミナー (Web開催)	
開催日	2020年10月11日(日) 10:00~13:00
講師	三木和子先生、増田梢先生 篠永美佳先生、上田こころ先生
報告者	デンタルみつはし 山本 りさ さん

2020年10月11日(日)、「なぜ私がマイクロスコープを使うのか」と第3回歯科衛生士セミナーがドクターブックの協力のもと初めてweb開催された。

歯科衛生士が臨床で使うマイクロスコープの実際を多くの方に知ってもらうために、歯科衛生士のみならず歯科医師・歯科助手にも参加の門戸が広がられた。その結果220名以上の参加者が集まり、半数は歯科医師となりオンラインで開催するメリットが大いに活かされた。

最初はデンタルクリニックKに勤務されている篠永美佳さんの発表から始まった。長年ルーペを使用していたが、歯科衛生士用のマイクロスコープセミナー受講をきっかけにおもしろさに気付き本格的に取り入れるようになったとのこと。

歯肉の出血や炎症があることを説明するため資料を見せたり、口頭で説明しても自分自身の口腔内で実際に起きている問題だと実感してもらいにくいことを見せることで患者が理解し、術者が多く語らずとも患者主体の行動変容に繋がられるマイクロスコープの良さを改めて感じ、また、後輩教育をするためお互いの手技を同じ目線で共有することで、伝えることが早く楽になり理解度も確認しやすくなったことを語られた。

次は天川デンタルオフィス外苑前に勤務されている三木和子さんの発表に移った。臨床実習先で初めてマイクロスコープをみて衝撃を受け、マイクロスコープがある医院に就職したいと熱望し現在のクリニックへの勤務に繋がったとのエピソードを語られた。

マイクロスコープ治療のアシストを通して歯科医師が見ているものとそこから導かれる口腔内所見を間近でみることから始められた。その経験のおかげで歯科医師が歯科衛生士にみて欲しいポイントを理解した上でマイクロスコープを使い始めることができた。唯一の常勤スタッフであるため練習や相談する相手がおらず壁がたくさんあったが、すぐに着手できることから取り組み研鑽積み重ねられたと語り、私自身励まされる思いがした。

続いての発表はすずき歯科医院に勤務されている増田梢さん。歯科衛生士としての自分を見つめ直し、患者さんに自分の治療を受けに通院してもらえぬ歯科衛生士でありたいと考えられた。そのためにはスキルアップすることが必要だと思っていた時にマイクロスコープと出会われた。

マイクロスコープ診療を受けてもらう際の注意事項の説明、痛みを感じず楽に診療を受けて貰うための工夫、伝わりやすく知識欲を掻き立てる説明など患者さんへの細やかな気遣いを共有していただいた。また、マイクロスコープを通して医院の外にも繋がりが拡大し歯科衛生士としての楽しさがより一層深まっているとのこと、これには私も強く共感した。

最後はたけい歯科クリニックに勤務されている上田こころさんにバトンが繋がれた。歯科衛生士が治療動画を堂々と説明する姿をみて、歯科衛生士はカッコいい仕事なんだと感じたことがマイクロスコープとの出会いであった。

どのようにしたら患者さんが耳を傾けて行動変容に導くかを考え、マイクロスコープを使って口腔内でおきていることに現実味を帯びさせ、患者さんになぜ歯が大切なのかを気づいてもらう手がかりにされていることに感銘を受けた。また、マイクロスコープを使っても見えているようであって見えていないことにも気づけるよう、見えている・わかると過信せず常に自分自身に疑いの目を向け勉強し続ける姿勢は医療人としてとても大切だと痛感した。

発表後は演者たちによるディスカッションが行われた。その後の質疑応答はライブで質問受付と配信がされた。お互いの意見を交換する最中にも新しい発見があり、意欲的に取り入れたいという姿勢がとても印象的であった。皆さん歯科衛生士としてそれぞれの道を歩んできたが、医院の垣根を超えて自分の臨床経験を詳細に共有して高め合えるのはマイクロスコープを使う奥深さだと感じることであった。